

教養部会准教授 茶谷 薫

1. 研究活動

論文			
駅前演説	2015. 5	野外活動研究会会報「観察の友・フィールドから」vol. 131, p. 1224	駅前で演説する人、演説を聴く人の行動等を観察・報告。
五条川の橋工事その後	2015. 5	野外活動研究会会報「観察の友・フィールドから」vol. 131, p. 1229	北名古屋市と岩倉市の境界にある五条川の橋工事の前後を報告。
黒板の価値（板書減）	2015. 8	野外活動研究会会報「観察の友・フィールドから」vol. 132, p. 1238	PC等の普及により、授業で使う板書が減ったことと生活エネルギーの関係を報告。
盗電合法	2015. 8	野外活動研究会会報「観察の友・フィールドから」vol. 132, p. 1239	電化製品を持ち歩く人が増えることにより、充電等を必要とする場合が増加し、盗電が行われるようになった実態を報告。

畑に太陽光パネル	2015. 8	野外活動研究会会報「観察の友・フィールドから」vol. 132, p. 1244	畑を太陽光発電基地に変える農家が増えている実態を報告。
道の変化：ガード下	2016. 2	野外活動研究会会報「観察の友・フィールドから」vol. 133, p. 1247	名古屋駅近くの道の変化に伴う交通の変化を観察、報告。
ささしまライブ24界限	2016. 2	野外活動研究会会報「観察の友・フィールドから」vol. 133, p. 1250	愛知万博を契機に変化し続けるささしまライブ24について報告。
Lifespan and Reproductive Senescence in a Free-Ranging Ring-Tailed Lemur (<i>Lemur catta</i>) Population at Berenty, Madagascar	2015. 5	Folia Primatologica, vol. 86, pp. 134-139	Shinichiro Ichino, Takayo Soma, Naomi Miyamoto, Kaoru Chatani, Hiroki Sato, Naoki Koyama, Yukio Takahata
柔軟な思考を阻むもの一特に化学教育のために	2016. 3	名古屋芸術大学研究紀要第37巻 pp. 231-239	若い学生にも観られる硬直化した思考が何故形成されるかを考察。
割合の理解に不足しているもの（事例報告）	2016. 3	名古屋芸術大学教職センター紀要 第3号 pp. 25-37	小学校の算数教育で最重要の「割合」の理解が芳しくない理由を考察し、理解をさせるための方策を提案。
名古屋芸術大学ゼミナール活動報告(2)	2016. 3	名古屋芸術大学人間発達研究所年報 第5巻 pp. 51-60	人間発達学部2年生向けのゼミナールの活動と、音楽学部と人間発達学部1年生を混ぜた基礎ゼミの活動報告。
人類学からみた「こども」という主題が芸術に投げかけるもの	2015. 9	芸術批評誌 [リア] vol. 35, pp. 15-18	人類学的、生物学的にみた子どもとは何か、「子ども」の発見、アートと子ども、現代日本と子ども、について論考。
口頭発表			
北陸新幹線の被害	2015. 8. 23	夏休み〈まち歩きサロン〉発表会 野外活動研究会・名古屋短歌会館	北陸新幹線で変わる金沢の人々の動きや店の状態を報告した。
名古屋駅・深掘り観察トーク 遠近から見た〈名古屋駅へ来る人〉の生態	2015. 8. 23	夏休み〈まち歩きサロン〉発表会 野外活動研究会・名古屋短歌会館	名駅の人々の行動観察を、このタイトルのシンポジウム演者の一人として発表した。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目名 生物学		教育実習巡回指導：岐阜県の岐阜市立陽南中学校に赴き岡みなみの研究授業を参観した。6/13の5時限目、13時40分～14時30分が研究授業で、合唱曲「朝の風に」の指導を参観し、終了後、実習生に対しコメントを行った。また校長先生と長時間懇談した。
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
動画・写真を授業中に提示し、動物の感覚について関心を喚起するとともに、指名し回答させ、理解を深められるようにした。また独自の出席カードを用意した。自由記述欄を広く取り、感想や苦情、質問などを記入できるようにし授業参加を促す工夫である。	※パワーポイント中心の授業進行 ※黒板における補助的説明 ※穴埋め式プリントで学習量増加 ※多数の動画・写真・図版をPCで映写 ※オリジナルの出席カードほか	

授業科目名 生態学		※7/2、9/24において、ゼミナールIIの南先生クラスとともに、それぞれ女子・男子限定の性教育を行った。また教職実践演習（幼稚園）で、10/21、10/28の2限目に、それぞれ女子向け、男子向けの性感染症予防、避妊、月経のしくみ等々の講義を南先生と協同行った。いずれも特に女子の関心が高く、学生生活や就職後の生活の向上に少しは寄与できたと思われる。
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
多数の動画・図・写真を提示し、生態系における物質の循環や環境問題、持続的環境利用などを理解させた。「生物学」同様のカードや指名で学生の授業参加している気分を高めさせ、カードを通じて教員との交流が多数人講義でもできるようにした。	上記「生物学」と同様。	
授業科目名 人類学		授業科目名：教養講座（自然） 後期（集中） 工夫の概要：学年・学部・性別を分散させ、初対面の者とのグループワークができるよう班編制を工夫した。また調理が科学（特に化学と生物学）でもあることを認識させるよう講義や、大麦の種籾を配布し育てさせ、水飴発行に使わせるなどし、レポートも毎日課した。 教材・資料等の概要：重曹、クエン酸、酵母、明礬、ベーキングパウダーなど様々な発酵・化学変化を起こす物を使用した。 授業科目名：保健と食と栄養 前期（集中、社会人向け/保育士特例科目） 工夫の概要：一冊の教科書を短期で理解させるため、PCとVTR、プリントを工夫した。 教材・資料等の概要：教科書のまとめをプリントにし、パワーポイントで映写しながら説明を行った。
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
霊長類や配偶システムに関連する多種多様な動画を用意し、ヒトの進化、霊長類の分類、配偶システムや成長発達パターン、長寿、子育て、社会などの進化を理解し易い様にした。上記「生物学」「生態学」同様のカードや指名の方法も使った。	上記「生物学」「生態学」と同様。	
授業科目名 ゼミナールII		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
※模擬授業や誕生会・調理実習と指導案作成、それに対する感想文、添削をメインに据え、学生が最も苦手とする文章作成能力の向上をはかった。 ※目的を見失いがちな学生の「やる気」を喚起する工夫を行った。	※独自の800字作文用紙の作成 ※独自の模擬授業コメントシートの作成 ※誕生会飾り付けのグループワークなど	

3. 学会等および社会における主な活動

リニモ沿線合同大学祭	2015. 11. 14・15	早川先生、木村先生、学生と共同で作成した大判布絵に描いた「ヘンゼルとグレーテル」の各場面を愛・地球博記念公園で子ども向けに展示し、「入れる絵本」として楽しんで学習して貰った。
NHK名古屋パパママフェスティバル	2015. 11. 22	上記の早川先生、木村先生、学生と共同で作成した大判布絵と、リニ祭実行委員らが作成した「お菓子の家」をNHK名古屋放送局の公開イベントで披露するとともに、それを出し入れすることで、親子を対象に学生とキャスターの野田英里さんが「ヘンゼルとグレーテル」を読み聞かせた。

<p>子育て・子育て支援 にこにこワーク ショップ ミニミニ講座</p>	<p>2015. 11. 11</p>	<p>親子支援事業（本学子どもコミュニ ティセンター）の一環で、30分弱の 親御さん向け講座を行った。タイトル は「に勉強が面白いと思える人になる には？」で、会話のなかで使われる文 の構造体得や、表情、身体を使った遊 びが、勉学の基礎をなす言語発達と密 接に関わることを伝えた。</p>
--	---------------------	--